



学力向上講演会

8月20日(火) 13:30~16:30
県内各学校、関係機関より約 350 名が参加し、婦中ふれあい館にて開催されました。

演題 『『英語の授業が好き』な児童生徒を育て、『英語力』を高める英語教育』

講師 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官
国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部
教育課程調査官

山田 誠志 先生



平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査結果からみえてきた改善のポイント

演題 「全国学力・学習状況調査結果を踏まえた国語科における学習指導の改善・充実について」

講師 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部
学力調査官・教育課程調査官

伊坂 尚子 先生



目的や必要に応じて、言葉を選択する、言葉を吟味するなど言葉による見方・考え方を働かせる学習活動を設定しましょう

小学校国語 1 調べたことを報告する文章を書く「公衆電話」

三 高橋さんは、「3 調査の結果をもとに考えたこと」の [] に「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。[] に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)
○ 「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)の両方から言葉や文を取り上げて書くこと。 (1)(2)のいずれかの言葉や文しか取り上げていない解答 28.8%

目的に応じて文章を書くためには、文章構成や書き方の工夫が必要です。



事実と考えとを区別して書いたり、理由を明確にして自分の考えをまとめたりするよう指導しましょう

調査問題の問題文の構成

- はじめに
- 調査の内容と結果
 - 公衆電話はどのようなときに必要なのか
 - 調査の内容と結果①
 - 分かったこと①
 - 公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか
 - 調査の内容と結果②
 - 分かったこと②
 - 公衆電話はどのような場所にあるのか
 - 調査の内容と結果③
 - 分かったこと③
- 調査の結果をもとに考えたこと
 - 考えたこと①
 - 考えたこと②

「考えたこと①」は「分かったこと①」と「分かったこと②」、「考えたこと②」は「分かったこと③」と対応した構成になっている。

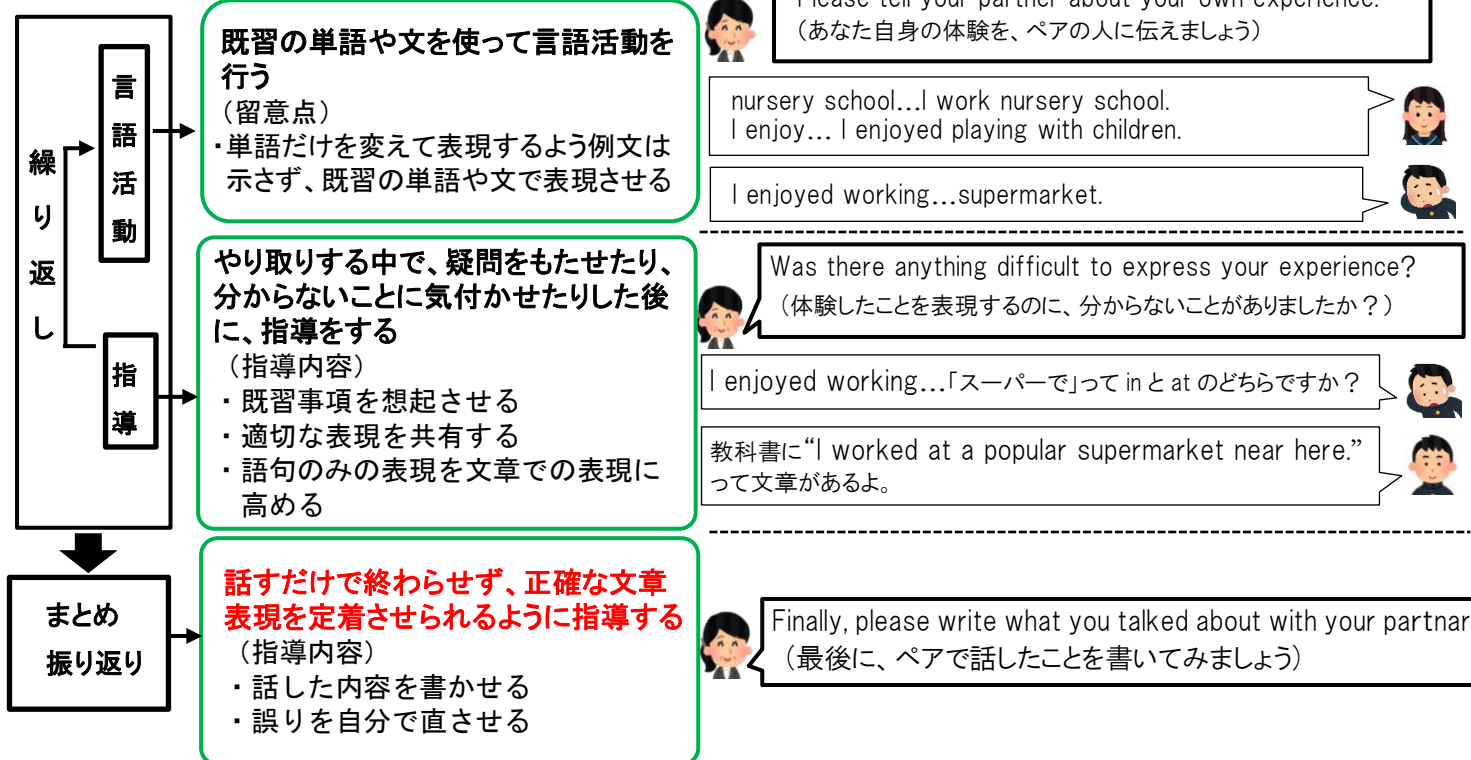
「生活の中で気になったことを調べて、報告する文章を書く」学習活動例と指導上の留意点

- 生活の中で気になっていることについて報告する文章にまとめというめあてを確認し、どのような構成で書くのかという見通しをもつ
 - 調査問題の問題文をモデルとして示し、報告する文章の大きな特徴を捉えさせる。
- 調査を行い、調べた結果を整理し、自分の考えをもつ
 - 自分の考えをまとめる際には事柄の内容を関係付けて考えさせる。
 - 選んだ事柄が自分の考えの理由や事例として、ふさわしいかどうかを吟味させる。
- 必要な事柄(調べた結果や分かったこと)を取捨選択しながら、自分の考えを明確にする
 - 記述の際は、調べて分かったことと自分の考えとを区別し、文末表現等に気を付けて書き分けさせる。
 - 読み手に伝わりやすい記述の仕方を考え、必要に応じて図表やグラフを用いるなど工夫して書かせる。
- 報告する文章の構成表を作る
- 構成表を基に記述し、推敲する
- 互いに読み合い、単元の学習を振り返る

条件を与えて書かせた後は、その条件を満たしているかを評価し、条件を満たす書き方を指導しましょう。

指導してから言語活動を行うのではなく、言語活動を行ってから指導しましょう

「職業体験」の単元を学習した後、教科書の対話文を基に、即興で「会話を継続・発展させていく」活動事例



全国学力・学習状況調査報告書

「全国学力・学習状況調査報告書(富山県教育委員会)」を10月末に発行しました。教科に関する調査結果の分析には、学習指導上の留意点や指導のポイント等が掲載されています。

教育指導の改善に、ご活用ください。

※報告書は、学力向上推進チームのHPから章ごとにダウンロードできます。